Volunteer Information

ボランティア
インフォメーション

2024
日野 11月

皆さんの楽しかった！が地域に還元される

親子で楽しもう

歳末たすけあいバザー♪

2024.12.1(日) 10:00-14:00

in 中央福祉センター

（日野市日野本町7-5-23）

バザー品販売

エコでスマートなショッピング！あなたにぴったりの掘り出し物が待ってるかもしれません！

模擬店

寒い日にぴったりの屋台がたくさん登場！しかも、財布に優しいお値段設定で、嬉しさ倍増！

イベントタイム

多摩地域のスーパースター、時空戦士ストレイザーが登場！ヒーローの登場にワクワクが止まらない！

提供品募集

【取 扱 品】石鹸や洗剤などの日用品、タオル、食器、寝具・シーツ、保存食品などの未使用品
【受付期間】11月5日（火）～11月22日（金）
【受付場所】日野事務所（日野本町7-5-23）または
高幡事務所（高幡1011）　※集荷対応も可

※1会場に駐車場はありません。近隣のコインパークなどをご利用ください。雨天決行
※２来場者が多い場合、安全のため入場者数制限を行うことがあります。ご協力ください。

【問合せ】日野市社会福祉協議会　TEL042-582-2319

ボランティア情報

ヨガのお手伝い

内　容：ハンディキャブあるなし関係なくヨガを通じて交流するイベントのサポートをお願いします。
活動先：新井地区センター
（日野市石田2-4-6）
日　時：第２土曜日10：30～12：00
（会場都合により変更あり）

ボランティアセンターでできるボランティア

内　容：食品の仕分け・箱詰め作業
パソコン事務・封入作業
ホスピタルアートづくり
活動先：中央福祉センター
日にち：月～金　9：00～17：15

クリスマスイベントのお手伝い

内　容：HINOEL(ヒノエル）というクリスマスイベントの受付・案内・設営補助のお手伝い
活動先：仲田の森蚕糸公園
（日野本町6-1-88）
日　時：12月7日（日）8：00～16：00
※午前・午後のみ可

もっとボランティア情報が見たい方はこちらのQRコードをお読みください。

問合せ先：ボランティアセンター☎042-582-2318）

100回同じこと聞いても怒られないスマホ講座の情報はこちら

１１月１１日（月）
①１１：００～１２：００（スマホ体験会）
②１３：３０～１４：１５（個別相談）
③１４：３０～１５：１５（個別相談）
会場：中央福祉センター（日野本町7-5-23）

１１月２５日（月）
①１３：３０～１４：１５（個別相談）
②１４：３０～１５：１５（個別相談）
会場：福祉支援センター（高幡1011）

無料・完全予約制
※2ヶ月連続の申込・同月複数回の申込不可
※個人情報や料金に関わる相談は対応できない場合あり

スマホ講座日程表

もっとお近くの場所でも開催されてるかも！？
※予約が必要な場合がありますので下記までお問い合わせください。

【申込先】日野市ボランティア・センター（042-582-2318）

防災減災シンポジウムから学んだ

災害時のトイレ事情

①トイレ備蓄で備えよう

トイレ 1人あたり 5回 × 7日分

4人家族で140回分の
トイレ備蓄をしておくと安心！

②簡易トイレの種類は様々

携帯トイレ（1回使い切り）

洋式トイレに装着し排泄物は給水パットや凝固剤で固めて捨てることができます。

簡易トイレ（複数回使用可）

持ち運びできる小型の箱型トイレ。使い捨ての物と洗浄して使用できるものがあります。

③トイレの処理の仕方

平時ではトイレゴミは可燃ゴミに出せますが災害時はトイレゴミは単独で分別を推奨！
（パッカー車などで収集すると破裂事故が起きて車が汚物まみれになる事案が多発するそう）

④まとめ

発災後は仮設トイレが来るまでに時間が掛かること、設置されても管理が悪いとすぐに汚物だらけになることを知りました。簡易トイレを自宅で備えておくだけで心の衛生も保つことに繋がります。日頃の備えと適切な処置が大事だと学びました♪

防災減災シンポジウムから学んだ

見た目では分からない要配慮者について

①見た目では分からないけれど配慮が必要な方って？

車いすや杖などは使っていないけど、同じように支援や配慮を必要とする方

今回は**耳の聞こえない方**や**精神障がいのある方**、**知的障がいのある方のご家族の方**などにお話をししていただきました。

②困ることや必要な配慮について(避難所編)

耳の聞こえない方

→サイレンや声による呼びかけ、館内放送が聞こえません。
見て分かる情報提供が必要です。

知的障がい・精神障がいのある方

→周囲に理解してもらうことが難しく、コミュニケーションがうまくいかず
その方の特性を理解することが大切です。

③「障がい」以外にも配慮が必要な方は沢山います！

妊婦さん、LGBTQIA、PTSD、アレルギーのある方、服薬や透析をしている方、認知症の方

などなど…

④まとめ

◎ 目に見えないからこそ、**想像すること**が大切です。
◎ 気になる方がいたら**様子を見守り**、困っていることは無いか聞いてみてください。
◎「要配慮者」ではなく、困っている一人の方として接し、その方の**特性を知る**ところから始めていただけると助かります。

お話していただいた皆様、ありがとうございました！

まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！

すまさぽ世話人 加藤 俊和 さん

やりたい人がやりたい事を やりたい時にを合言葉に

定年退職をするまでは、とにかく仕事漬けの毎日でした。原子力設備や火力発電所の電気制御設計を担当して、夜は遅くまで仕事し、トラブルがあれば現地に飛んで行って徹夜で作業をして。今考えてみれば大変なことばかりでしたがいろいろな人に助けられました。子供が成長し妻に大きくなったねと言うと、私が育てたんだと言われました(苦笑)

小学生まで川崎で育ち、その後茨城県で大学まで暮らし、就職して日野市に来ました。中学校2年生の時にギターと出会って、初めて買った井上陽水のレコードに影響を受けて歌謡曲にはない不思議な世界にのめり込んでいましたね。大学生の時も勉強そっちのけでフォークソングクラブで活動していました。夢中でやっていたギターが定年後のボランティア活動にも役立っています。

次女が小学～中学生の時に親父の会を作って、子どもたちと学校に泊ったり、登戸から歩いて帰ってくるウォーキングイベントを実施して親父たちと楽しみましたが、仕事が忙しくなり冒頭のような状況でした。仕事としての社会貢献はやり切ったと思い60歳で退職することは決めていました。退職の2年前から「まち活」に参加して、ボランティア活動や地域イベントの情報を収集して、そこから知り合いが徐々にできたんです。2021年に「スマホお助け隊」養成講座に目が留まり受講しました。高齢の方を対象に、スマホの使い方をボランティアで教える活動なのですが、実際にやってみると思った以上に苦手な方が多くいたんです。昨年は130回の相談会をしたんですが、まだまだ足りないと感じています。活動を通して学んだことは、高齢の方にスマホの使い方を教えるというよりは、使うことへの不安を取り除いてあげることだと思っています。時には、ほとんどが世間話で終わることがあります。ある日、スマホを2台持って来られた方が「夫が教えてくれると言って同じスマホを買ったんだけど、突然夫が亡くなってしまって、だからこのスマホを使いたいの」といった相談もありました。お話を聴きながら、それぞれにスマホへの想いがあるのだなあと気が付きました。

今は「スマホお助け隊」の受講生と教える側の自分たちも楽しむために「すまさぽ」というグループを作って技術交流会や独自イベントを企画して新たな活動もしています。ボランティアをして期間は短いですが、本当に多く知り合いが増えました。ボランティアって、やりたい人がやりたい事をやりたい時にって思っています。そうじゃないと前向きになれないかなって僕は思ったんです。これからも仲間と活動を楽しみます。

スマホ個別相談会の様子
一人ひとりの相談に丁寧に乗っています。

ボラセンつぶやき

先日実施した防災減災シンポジウムで学んだことを一部ですが記事にまとめてました。ぜひご覧いただき、今後の備えに役立ててください。
我が家では猫も増えたこともあり、備蓄の見直しを進めるきっかけになりました(^^♪（伊東直樹）

人との出会いの多い仕事なので、いろんな人とお話しする機会があります。もちろんいろんな人生を過ごしているのですが、よくお話を聴かないと身近な人でも知らないことばかりです。話をお聴きするとその人の人生が染みていくようにも感じます。出会いは宝！（宮崎雅也）

10/13(日)に行われた市民フェアにご参加・ご来場いただいた皆様ありがとうございました！大勢の方で賑わう素敵な1日となりました(^▽^)/次は歳末助けあいバザーでお待ちしています！ぜひ遊びに来てくださいね(*'▽')（橋谷優希）

12/1(日)は、日野市社会福祉協議会の大きなイベント「歳末助けあいバザー」です♡ボラセンも毎年恒例の喫茶を出店します(*^^)v今回は片手で持てる甘いものをご用意する予定です！是非遊びに来てくださいね～(^^♪（中村康子）

日野市社会福祉協議会　日野市ボランティア・センター
住所：日野市日野本町7-5-23　TEL：042-582-2318